

別表第1（第5条関係）

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 24 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	チャレンジデー事業費			
担当課係名	スポーツ振興課	スポーツ振興係	作成者	草薨 正勝
総合計画での位置づけ	施策の大綱	第5章 明日を担う人材を育む教育文化のまち		総合計画のページ 97
	基本計画	4 スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備		
	主要施策	スポーツ活動の振興、充実		
予算費目	一般会計	10款 教育費	6項 保健体育費	1目 保健体育総務費
事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 24 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス	<input type="checkbox"/> 公共事業	<input type="checkbox"/> 施設維持管理	<input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理
根拠法令等	スポーツ振興法			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託）	<input type="checkbox"/> 民間委託（全部）	<input type="checkbox"/> 補助

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	全市民が健康維持及び体力増進のため15分以上の運動をする。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市民の体力・健康増進のためのきっかけづくり。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	市民に15分以上の運動をするように、市民に呼びかける。また各種団体に協力要請を行う。メイン会場でスポーツイベントを行う。

【事務事業の推移】

項 目		単位	23年度実績	24年度実績	
効果	活動指標 参加者数 (市民人口1/2)	目標	人	15,143	14,961
		実績	人	13,751	10,780
		達成度	%	90.8%	72.1%
	成果指標 参加率 (市民人口1/2)	目標	%	50.0	50.0
		実績	%	45.0	36.0
		達成度	%	90.0%	72.0%
投下コスト	項 目	総事業費	23年度決算額(千円)	24年度決算額(千円)	
	事業費(人件費を除く)(A)		853	838	
	人 件 費 (B)		—	594	580
	職 員 数		—	0.07	0.07
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,479	8,286
	(A) + (B) 投下コスト		—	1,447	1,418
	財源内訳	国 庫 支 出 金		0	0
		県 支 出 金		0	0
		地 方 債		0	0
		そ の 他		650	638
		一 般 財 源		797	780
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	105	132
	市民1人当たりのコスト(円)		—	49	48

【事務事業の今までの成果】

- ・市民のスポーツに対する関心が高まってきている。
- ・地域での参加及びスポーツによる健康増進に効果がある。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	・秋田県内17市町村（地区）で参加している。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	・市民からの期待は大きい。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
A	A 現状のまま継続（実施）	・笹川スポーツ財団の補助事業であり、スポーツによる健康増進及び地域活動に結びついてきている。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

--

【二次評価】

判定	判定に至った理由
B 2	事業実施の目的を再認識し、実施主体の検討も含め、周知、参加率の向上のため手段改善が必要であると考えます。

